

## II 道路改良事業：一般国道 486 号 新市府中拡幅

### (1) 事業概要

- ① 事業箇所 福山市新市町戸手～府中市須町
- ② 規模等 道路延長：3.4 km 車道幅員：13.0m (全幅員：30.0m)
- ③ 全体事業費 264.0 億円 (前回の再評価時と同額)
- ④ 工期 平成9年度～令和8年度 (前回の再評価時と同じ)

### (2) 再評価の事由

前回の再評価後5年が経過した時点で継続中の事業であるため

### (3) 審議内容

#### ① 事業の内容と必要性

一般国道 486 号は、備後圏域の東西軸を形成し、広域連携の強化や物流効率化などに寄与する重要な路線であり、府中市や福山市においては、福山市中心部や山陽自動車道福山東 IC、重要港湾福山港等へのアクセス道路となる路線である。

本事業区間においては、慢性的に交通渋滞が発生している状況であり、交通の円滑化や交通安全の確保、中国横断自動車道尾道松江線等へのアクセス向上、災害に強い道路ネットワーク構築等のため、早急な整備が必要である。

#### ② 事業を巡る社会情勢及び必要性等の変化

国勢調査によると、府中市の人口は、平成27年の40,069人に対し、令和2年は37,677人、また、福山市の人口は平成27年の464,811人に対し、令和2年は461,268人と両市ともに減少しているものの、本事業区間は、平成31年には、国から「重要物流道路」の指定を受けるなど、物資の安定輸送を行う上で、非常に重要な路線であることから、事業の必要性に変化はないものと考えられる。

#### ③ 進捗状況と今後の見通し

事業は計画通り進捗しており、令和8年度の事業完了に向け、順調に工事が進んでいる。

#### ④ 事業費の増減と現時点での費用便益比

前回の再評価時と比較し、全体事業費に増減はない。

費用便益比 B/C については、「費用便益分析マニュアル (H30.2 国土交通省道路局 都市局)」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を部分供用開始後の50年間、社会的割引率を4.0%とした結果、前回の1.4 (総便益 (B) : 371.2 億円, 総費用 (C) : 259.5 億円) から1.2 (総便益 (B) : 390.3 億円, 総費用 (C) : 326.8 億円) と減少している。

#### ⑤ その他特筆すべき事項

一般国道 486 号は、広島県第一次緊急輸送道路 (広島県緊急輸送道路ネットワーク) に位置付けられており、本事業区間を整備することで、走行性が大きく向上し、大規模災害直後から発生する救命活動・物資輸送などを迅速かつ確実に行うことができるようになる。

また、地元の福山市からも、沿線市町の連携及び物流面において重要な役割を担うとともに、広域的な経済圏・生活圏の形成に不可欠な道路として、早期完成を強く要望されている。

### (4) 結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、コスト削減に取り組むとともに、予定としている令和8年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いする。